

平成 1 5 年度

第 2 回

宇都宮市図書館協議会会議録

宇都宮市立図書館

宇都宮市立東図書館

1 開催日時 平成 16 年 2 月 12 日(木)午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時

2 開催場所 宇都宮市立東図書館集会室(2 階)

3 出席委員 6 名

金子耀誉 加藤美智子 増淵民子

軍司 敏 小川範子 麦倉仁巳

4 欠席委員 4 名

今野綾子 三村正行

梅園杏子 兼子啓子

5 事務局

- ・ 江面生涯学習課長
- ・ 館野市立図書館長
- ・ 飯塚市立東図書館長
- ・ 事務職員 7 名

6 傍聴者 なし

発言者	内	容
事務局		<p>本日は10名の委員のうち6名の出席がありますので、「宇都宮市図書館条例施行規則第25条」の規定に基づき、協議会は成立しています。</p>
軍司会長	<p>1 開 会 2 あいさつ 3 議 事</p>	
事務局	(1) 報告事項	<p>ア「平成15年度図書館の事業実績及び利用状況について」 イ「広域利用の実施状況について」 ウ「図書館アンケート調査結果について」 エ「学校との連携・ボランティア活動について」 オ「インターネットによる図書館情報サービスについて」 カ「その他 平成16年度の図書館休館日について」 を説明</p>
事務局	(2) 協議事項	<p>ア「平成16年度図書館の運営目標(案)及び事業計画(案)について」を説明</p>
加藤委員		<p>子どもの読書活動推進の中で、児童サービス担当者を手厚くすることだが、具体的にはどのようなことか。</p>
事務局		<p>現在、市立図書館では館内奉仕課の児童室担当が、おはなし会・学校訪問を担当している他、館外奉仕課にも児童担当があり、講座関係を担当したり団体貸出を行っています。</p> <p>来年度は、両者を合体させて、効率的な運営を行っていきたい。それとともに児童担当者の数が増えるので、いままで児童室に常に配置できなかった児童担当者がいつも児童室にいるという状態を作っていきます。</p>
加藤委員		<p>子どもたちにとっての読書推進は、人が介在することはとても大事なことでよろしくお願ひしたい。</p>
増淵委員		<p>お話ボランティア養成講座はとても結構なことだと思う。</p>
麦倉委員		<p>点訳奉仕員・音訳奉仕員養成講座の実績の内容をお聞かせ願ひたい。</p>

- 事務局 点訳奉仕員については、昨年度養成講座を終わった方が20人程度います。
その方々を中心として研修会を7回行っています。参加者は延べの人数です。
音訳については、今年度30回行い、内15回は東京から講師をお招きして実施しました。
- 軍司会長 (3) 委員提案事項について
- 麦倉委員 市町合併が具体的になっているが、広域利用をどうするのか項目として事業計画に盛り込む必要はないのかお聞きしたい。
- 事務局 市町合併について、現在、合併の相手方と話しをしているところで、広域についても、これからどうなるのかというのは未定です。いままでの枠組みと違う合併した新しい市ができますので、新しい市を単位として広域をどのように考えるのか検討が必要ですので、この件についてはしばらく結論は先延ばしになると思います。
- 小川委員 12ページのボランティア活動状況で、市立は書架・視聴・閲覧で、東は書架・視聴・外国語となっているが、外国語とはどういうものか。
- 事務局 利用案内等を英語とか中国語に翻訳して外国人の利用者も読めるように英語を中心に見直ししているところです。外国語ボランティアは、図書館に置いて皆さんに周知する資料を外国語に訳す作業をお願いしているボランティアです。
- 小川委員 中学生も関わっているのですか。
- 事務局 小中高生については、ほぼ書架ボランティアです。一部視聴覚の映像確認する方もいます。表がわかりづらいので次回までに見直したい。
- 金子委員 新規で読み聞かせボランティアの育成と連携と書いてありますが、栃木県では最近読み聞かせや本を読む習慣が増えてきたと聞いております。その中で幼稚園では読み聞かせが中心となる。宇都宮市内に読み聞かせの団体が結構あると聞いているが、図書館では把握しているか。分かったら教えていただきたい。
- 事務局 宇都宮市内には宇都宮子どもの本連絡会があります。市立図書館開館の前年度に市内の文庫の方が集まって作った団体ですが、その活動に図書館も支えられて、子どもの読書についてここまで来られました。宇都宮子どもの本連絡会に参加している団体については、図書館でも把握しておりますが、小さな家族単位とか2～3人でやっている団体については、なかなか把握できていないのが現状です。公民館からも情報を集めてこちらで集約できればと考えておりますが、集約はできておりません。

加藤委員 共催の宇都宮子ども本連絡会とか栃木こどもの本連絡会の方たちとか、子どもと本に関わる団体と図書館とが、うまく連動していくことは大切な環境作りではないかと思っていますので、手厚く関わっていただければと思っています。

増淵委員 図書館は蔵書が充実されている。また、インターネットが入り多くの人が利用しているが、分かりやすく使いやすいと思う。

小川委員 今、子どもの絵本に関わるボランティアが増えているのですが、宇都宮子ども本連絡会では、文庫を中心に最初は発足しました。最近、周りの状況が変わってきて会員の動きも変わり、学校でボランティアをしているお母さんが会員として増えてきている。

何故増えてきたかは、2000年の子ども読書年が契機になっているが、ただ怖い部分を感じているものがありまして、読み聞かせは、いつ、どこで、たれが、たれに対してやっても同じものではなくて、TPOによって扱える本はかなり違ってくる。

学校で始めたお母さんはTPOを知らないお母さんが多いので、この先はそこに目を向けてそういう人たちにも勉強していただく機会ができていかなないと、活動だけでは広がっても何にもならない。

麦倉委員 ボランティア育成は口で言うのは簡単だが、長続きさせるのはむずかしいところがある。社会福祉協議会の方でもやっているが、読み聞かせや点字もやりたいが、現実的には取り組むのはむずかしいので図書館でお願いしたい。

軍司委員 貸出人数の内訳で、児童・学生・一般とあるが学生に高校生は入るか。

事務局 学生は中学・高校生です。年齢で区分しています。

(4) その他

事務局 次回の協議会開催は8月下旬を予定しています。

4 閉会